

1、個体の入手方法

研究目的の使用であれば、野生型および遺伝子組換え体のいずれも鳥取大学のコロニーから可能な範囲での分与に応じます。その際には鳥取大学と MTA を交わしてもらう必要があります。なお、遺伝子組換えに使用されたベクター等の使用許諾やライセンスの取得、遺伝子組換え実験、動物実験に関する申請は受け入れ者の責任で行って下さい。

イベリアトゲイモリはペットショップあるいはインターネットの販売サイトを通じて購入することもできます。しかし、まとまった数や、希望する月齢の個体を購入することは難しいかもしれません。

ペットショップから購入

主に流通しているのは 10 cm よりも小さいサイズの幼体です。1 匹 500-2000 円程度で購入することができます。販売単位（在庫）は数匹程度であることが多く、季節によっては手に入りにくいようです。ペットショップからは、遺伝的バックグラウンドがはっきりした個体や近交系を購入することはできません。

現在の所、イベリアトゲイモリを研究用に繁殖している民間業者や個人は無いようです。

鳥取大学のコロニーからの分与

鳥取大学では兄妹交配を重ねた野生型近交系と、鳥取大学で作製した遺伝子組換えイモリの系統を維持・繁殖しています。研究に使用するのであれば、鳥取大学のコロニーから可能な限りに分与に応じます。いずれの個体も飼育数に限りがあるので、必要な系統や数を事前に相談してもらえると、分与が円滑に進みます。

なお、鳥取大学からの分与にあたっては、事前に大学間の MTA を交わしてもらう必要があります。

鳥取大学からの輸送方法

野生型個体についてはヤマト運輸の宅急便を利用できます。クール便で送ることもできるので、年間を通じて全国に発送可能です。

遺伝子組換え個体については、使用者自身が運搬する（取りにくる）他に、業者に依頼する方法もありますので、ご相談ください。

鳥取大学で維持している系統

標準的な系統として兄妹交配を行っている3つのグループがあります。野生型であるT系統とJ系統はすでに5世代以上の交配を重ねているので、近交系と呼ばれる状態です。いずれの系統も純系化（20世代以上）を目指して交配を続けています。

- ・ Tottori (T) 系統： 野生型の標準となる系統として繁殖をしています（現在第8世代を分与可能です）。

- ・ Yonago (Y) 系統： 野生型の標準となる系統として繁殖をしています（現在第8世代を分与可能です）。

- ・ Tottori-Kyoto (TK) 系統： 自然突然変異によって生じた白変（リューシスティック）型の系統です。アルビノとは異なり、チロシナーゼ遺伝子は正常です。遺伝子組換え動物ではありません。

遺伝子組換えイモリの系統と、使用に必要な許諾については表の通りです。

ノックアウト系統

チロシナーゼ K/O（アルビノ）

必要な許諾：広島大学（KO に使用した TALEN に関する許諾）

遺伝子導入系統

GAG-GFP

必要な許諾：CAGGS promoter、GFP

CAG-RFP

必要な許諾：CAGGS promoter、mCherry (TAKARA Bio)

Heat shock-GFP

必要な許諾：Xenopus heat shock promoter、GFP

Xenopus alpha-Myosin heavy chain promoter GFP

必要な許諾：Xenopus alpha-Myosin heavy chain promoter、GFP

イペリアトゲイモリの飼育と実験に伴う各種申請

- ・ 遺伝子組換え実験申請

遺伝子組換えイモリ（遺伝子導入イモリおよびノックアウトイモリ）を使用する場合は遺伝子組換え実験の申請を行い、許可を得ることが必要です。イモリを使用する研究者が所属する大学または研究機関の規則を遵守して下さい。なお我々のグループでは、TALEN や CRISPR/Cas9 system を用いて作製した遺伝子破壊（変異体）個体も、遺伝子組み換え体として扱っています。

- ・ 動物実験に関する申請

イモリを使用する研究者が所属する大学または研究機関の規則に則り申請を行い、実験の許可を得て下さい。

両生類であるイモリの動物実験の申請を必須としていない研究機関もあります。しかし、国際雑誌に研究成果を発表する際には、動物実験計画の承認を得ていることを求められる場合があります。このため、両生類の新生を必須とされていない研究機関であっても、イモリの実験申請を行うことを推奨します。雑誌によっては論文の投稿時に、実験計画の承認番号の記載を求められることがあります。

- ・ 遺伝子組換えイモリを作製する際に使用したベクターや導入した遺伝子について

受け入れ側の研究者が許諾やライセンスを求められる場合があります。使用許諾を得るために必要な情報を提供するので、各自の責任において許諾を得て下さい。



注）本資料は鳥取大学が運用する公式なマニュアルではありません。